

不適合情報

2021年1月6日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G グレード 0件

2. G グレード 0件

3. G グレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	高電導度廃液系濃縮装置(A)デミスタ(気体中に含まれる液体のミスト(微粒子)を分離・除去する網型の装置)洗浄水弁にシートバスを確認した。当該弁を点検・修理。	2020/12/26	
2	3号機	原子炉建屋付属棟2階(非管理区域)高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機区域給気ルーバー室の防雪板に腐食を確認した。当該防雪板を交換。	2020/12/25	
3	5号機	サービス建屋入退域管理所において、協力企業作業員が携行品搬出のため可搬型携行品モニターで測定しようとしたところ、測定が行われないことを確認した。当該機器の使用を禁止し点検・修理。なお、使用禁止期間中は代替測定を実施。	2020/12/20	
4	5号機	タービン建屋1階(管理区域)大物搬入口で放射線測定作業に従事していた協力企業作業員の線用警報付ポケット線量計が鳴動したことを確認した。線量計を確認したところ液晶画面の表示が消失していたため、ただちに管理区域から退域し放射線量を確認したところ0.00mSvであった。作業エリアの線量率も0.001mSv未満であり、他の作業員も0.00mSvであったことから被ばくがなかったと評価。当該線量計を点検・修理。	2020/12/24	
5	6号機	原子炉建屋1階(管理区域)残留熱除去系(B)弁室で作業に従事していた当社社員の線用警報付ポケット線量計が鳴動したことを確認した。ただちに管理区域から退域し放射線量を確認したところ線0.09mSvが記録されていた。作業エリアの線量率は最大0.04mSv/hであり、作業時間は10分程度であったことから線量計の異常と判断。当該社員の線量評価を行い0.01mSvの被ばくと評価。当該線量計を点検・修理。	2020/12/24	
6	6号機	屋外に設置している低起動変圧器(6SB)冷却装置制御盤内に、雨水の水溜り(約40cc)を確認した。当該制御盤を点検・修理。	2020/12/26	
7	6号機	6/7号機サービス建屋入退域管理所において、携行品モニターが使用していないにもかかわらず異常を示す警報を発生したことを確認した。当該機器の使用を禁止し点検・修理。	2020/12/27	
8	7号機	原子炉内蔵型再循環ポンプ静止型可変周波数電源装置の主回路盤(A)に、故障を示すランプが点灯していることを確認した。当該事象の原因を調査し、電源の再投入により故障ランプの消灯を確認済み。電源装置を交換。	2020/12/22	
9	その他	管理区域境界の外部放射線線量当量測定にともなう電子式集積線量計点検時、液晶画面の消失および測定データの読み取りができないことを確認した。当該計器を交換。なお、測定データについては、代替測定を実施し確認済み。	2020/12/17	